

2015年度 島根大学教育学研究科現職教員短期1年履修コース 活動報告

I. 現職教育支援センター及び教育学研究科現職教員短期1年履修コースのメンバー構成

(1) 担当教員（現職教育支援センター兼任教員）

役職・所属講座・職名	氏名	専門領域
現職教育支援センター長 自然環境教育講座・教授	栢野 彰秀	理科教育学
現職教育支援センター副センター長 人間生活環境教育講座・教授	橋爪 一治	技術科教育・情報教育
初等教育開発講座・教授	松本 一郎	理科教育学・地学
初等教育開発講座・教授	川路 澄人	図工・生活科教育
初等教育開発講座・教授	廣兼 志保	体育科教育学
心理・発達臨床講座・教授	稲垣 卓司	障害児精神医学・思春期精神医学
健康・スポーツ教育講座・教授	平井 章	スポーツ哲学・体育科教育学
教師教育研究センター・教授	権藤 誠剛	教育方法学

(2) 入学生の専攻・コースと指導教員

* 主担当教員

氏名	所属する専攻・コース	主指導教員	副指導教員
川上 久美子	教育実践開発専攻 発達臨床コース	稲垣 卓司	* 高橋 悟 権藤 誠剛
木山 清貴	教育実践開発専攻 発達臨床コース	橋爪 一治	* 樋口 和彦 稲垣 卓司
橋本 洋子	教育実践開発専攻 発達臨床コース	* 稲垣 卓司	原 広治 樋口 和彦
和田 真紀子	教育実践開発専攻 発達臨床コース	廣兼 志保	* 原 広治 樋口 和彦
山崎 裕子	教育内容開発専攻 言語系教育コース (国語教育分野)	栢野 彰秀	* 田中 耕司 百留 康晴
竹田 育子	教育内容開発専攻 言語系教育コース (英語教育分野)	松本 一郎	* 猫田 英伸 大谷 みどり
安野 洋	教育内容開発専攻 数理系教育コース	川路 澄人	* 御園 真史 百合田 真樹人
吉岡 知恵	教育内容開発専攻 自然系教育コース	平井 章	* 栢野 彰秀 辻本 彰

II. 年間スケジュール

月 日(曜)	行事
4月6日(月)	入学式
4月7日(火)	2015年度現職教員短期1年履修コース(第8期生) オリエンテーション
4月8日(水)	前期授業開始 「特別課題研究」の研究テーマ提出
4月15日(水)	履修登録期限・履修登録確認(年間を通じての登録をする)
6月9日(火) ～7月28日(火)	各自の「特別課題研究」の研究テーマ発表会
8月8日(土)	島根大学大学院教育学研究科現職教員短期1年履修コース 実践報告会並びに講演会
10月1日(木)	後期授業開始
11月10日(火)	「特別課題研究」中間発表会
1月12日(火)	「特別課題研究」の研究成果提出
2月1日(月)	「特別課題研究」の研究成果論集提出
2月2日(火)	「特別課題研究」最終成果発表会
2月4日(木)	2015年度島根大学教育学部現職教員研修者との研究交流
2月中	「特別課題研究」の審査及び試験(口頭試問)
3月25日(金)	学位授与式

III. 年間行事のタイムスケジュール

(1) 島根大学大学院教育学研究科現職教員短期1年履修コース実践報告会並びに講演会

(Photo 1, 2)

日時: 2015年8月8日(土) 14:00～17:30
場所: 島根大学教育学部棟 517室(多目的ホール)
日程: 14:00～14:30 受付
14:30～14:40 開会行事
14:40～16:10 研修Ⅰ「現職教員短期1年履修コース生の実践報告・情報交換」 ポスターセッション
16:20～17:20 研修Ⅱ 講演「インクルーシブ教育システムを目指した特別支援 教育の推進について」 講師 島根大学教育学部教職大学院設置準備室特任教授 池尻 和良 先生
17:20～17:30 閉会行事

(2) 「特別課題研究」中間発表会 (Photo 3, 4)

<p>目的 ○ 「特別課題研究」で各自が研究・実践したことを発表し合い、実践した内容を整理したり、さらに深化したりする。</p> <p>○ 「特別課題研究」で研究・実践したことをどのようにまとめていくか整理する。</p> <p>日時：2015年11月10日(火) 9:30～15:00</p> <p>場所：島根大学教育学部棟 G27号室</p>
--

(3) 2015年度現職教員短期1年履修コース「特別課題研究」成果発表会 (Photo 5, 6)

<p>目的 ○ 「特別課題研究」として1年間研究・実践した成果・内容について発表する。</p> <p>○ 成果を広く公開し、多くの示唆を得る場を設ける。</p> <p>日時：2016年2月2日(火) 9:20～15:40</p> <p>場所：島根大学教育学部25番教室</p>
--

日程

時間		発表者	「課題研究」題目
9:20～9:30	開会式		
9:30～10:00	発表①	川上久美子	学校での発達障害の子どもの支援における心理臨床的な視点について
10:00～10:30	発表②	吉岡 知恵	中学校理科授業の改善方策に関する実践的研究 ー生徒及び教師の有する課題双方に焦点をあててー
10:30～11:00	発表③	木山 清貴	重度の自閉スペクトラム症のある生徒の方略使用による自発的活動の促進
休憩			
11:10～11:40	発表④	山碕 裕子	語句・語彙に着目させる指導が学習者の読みに与える影響
11:40～12:10	発表⑤	竹田 育子	高等学校における批判的思考力を育む英語授業開発
昼食・休憩			
13:10～13:40	発表⑥	和田真紀子	通常の学級における特別な支援を必要とする子どもの理解とそこのかかわり
13:40～14:10	発表⑦	橋本 洋子	児童の自尊感情を高めるための支援の在り方 ～ロールプレイングを取り入れた授業実践を通して～
14:10～14:40	発表⑧	安野 洋	数学の問題を自律的に解決しようとする態度の育成に関する研究 ーヒューリスティックスに焦点をあててー
休憩			
14:50～15:30	指導 講評	吉田裕三先生 元島根県出雲市立北浜小学校長 井田博之先生 元鳥取県西伯郡伯耆町立岸本中学校長	
15:30～15:40	閉会式		

日時：2016 年 2 月 4 日（木） 12:45～16:00

目的 ○現職教員短期 1 年履修コースの大学院生が取り組んだ「特別課題研究」の成果について、島根大学教育学部主催（附属教師教育研究センター担当）の「現職教員研修」者と現職院生とが研究交流を実施し、研究成果を教育現場に活かすために、検討を行う。

場所：島根大学教育学部棟 517 室、212 室、副学部長室

IV. 本コースの一年の歩み

(1) 本コースの特色

本コースでは 1 年間の在学、研修によって「修士（教育学）」の学位と専修免許状の取得が可能である。その特色として、

- ① オーダーメイド型のカリキュラムと②複数指導教員による「特別課題研究」の指導がある。
- ① オーダーメイド型のカリキュラムでは、以下の表 1 のように自由選択科目 8 単位分を所属する専攻・コースの別なく、履修したい講義を受講し、単位を取得することができる（一部臨床心理コースのものを除く）。そのため、院生自身の興味関心や指導教員のアドバイスにより、幅広い学習を行うことができる。

表 1 履修基準

授業科目の区分	教育実践開発専攻	教育内容開発専攻
コース共通科目	6	6
選択分野（コース）科目	16	16
自由選択科目	8	8
合計	30	30

- ② 複数指導教員による「特別課題研究」では、2 つの特徴がある。一つ目が一人の現職院生に対して、研究テーマに沿った研究指導教員 2 名と短期 1 年履修コースを担当する現職教育支援センターのメンバーから 1 名の計 3 名で指導する体制である。例として、中学校の社会科教員が院生となり、本人の研究テーマが「学級内における特別支援の必要な生徒に対する指導法」であった場合、特別支援教育を専門とする指導教員と社会科教育を専門とする指導教員の 2 名が指導する体制となる。現職教育支援センターからの指導教員は、そうした教員間のマネジメントを主に担当する役割である。二つ目として、既述した指導体制のもと「特別課題研究 I・II」（計 8 単位、表 1 の選択分野（コース）科目の 16 単位に含まれる）の内容である。2 名の研究指導教員による指導の下、多くの院生が自分の研究テーマに関しての先行研究の渉猟、研究テーマ・課題の抽出、授業実践のための研究、授業実践、授業の評価、研究テーマの再検討を行うことになる。こうした指導体制、カリキュラムの下、1 年間という短い期間ではあるが、研修の内容を深めることが可能なシステムを構築している。

（文責：現職教育支援センターセンター長 栢野彰秀）

Photo 1, 2 :

島根大学大学院教育学研究科現職教員短期1年履修コース実践報告会並びに講演会



実践報告会



講演会

Photo 3, 4 : 「特別課題研究」中間発表会



Photo 5, 6 : 2015年度現職教員短期1年履修コース「特別課題研究」成果発表会

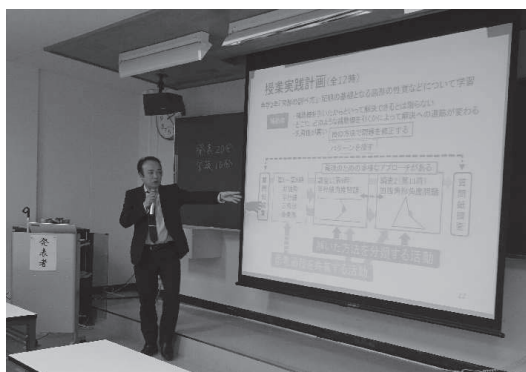


Photo 7 : 2015年度現職教員研修者との交流会

